

第9期東京教区教学館

「研修員」募集のご案内

第9期の東京教区教学館「研修員」を募集いたします。

教学館の「教」とは「真宗教学」の教です。そして教学館の「学」とは「学問・思想」の学のことです。真宗仏教を聞思することをベースにしなが、仏教に隣接する他分野の思想学問との対話・交流をもう一つの柱にすえて、さらなる自己探求を模索する試みの「場」です。

宗教も思想も、あつかっているのは「人間」そのものです。真宗の学びと他の分野との対話を通じて、それぞれが思索し、既存の常識的枠組みにとらわれることなく自由に話し合いながら、共に自身の生活の原点に立ち返って、混沌とした現代に如実にはたらく真宗を再構築してこうとする研修会です。どうかふるってお申し込みください。

研修内容

■月例研修会■

1泊2日の研修会を年に10回程度・夏期合宿研修（2泊3日）

●基調講義

テーマ：「『教行信証』の深淵を尋ねて」

講師：武田定光先生（東京6組因速寺住職）

●特別講義 第八期の特別講義の内容（別紙）を参照ください。

●その他の活動

基調講義を受けての座談

輪読・輪読内容についての座談

基調講義テープ起こし

教区教化委員会報『ネットワーク9』への寄稿

研修期間終了時に教学館紀要『パリナーマ』を作成

募集要項

1. 趣 旨 真宗教学と他分野との対話交流による自己探求。
2. 期 間 3年間
＜2022年度＞（2023年度以降は未定）
【第1回】2022年11月10日(木)～11日(金)
【第2回】2022年12月21日(水)～22日(木)
【第3回】2023年1月17日(火)～18日(水)
【第4回】2023年2月28日(火)～3月1日(水)
【第5回】2023年5月18日(木)～19日(金)
【第6回】2023年6月20日(火)～21日(水)
※新型コロナウイルスの影響により変更となる場合も
あります。
3. 会 場 東本願寺「真宗会館」（東京都練馬区谷原1-3-7）
※宿泊先も真宗会館となります。
4. 対 象 原則20～35歳までの有教師で、3ヵ年を通して通える者
5. 募集人員 約12名（定員になり次第締め切らせていただきます）
6. 申し込み 申込願書に必要事項を記入の上、郵送でお申し込み下さい。
添付の申込願書以外は不可とします。
＜締め切り＞
2022年9月30日（金）
＜申 込 先＞
真宗大谷派東京教務所内「東京教区教学館」宛
〒177-0032 東京都練馬区谷原1-3-7 Tel:03-5393-0810
Fax:03-5393-0814
〈担当：佐々木駐在教導〉
※お申込みいただいた方へは、詳細を改めてご連絡いた
します。

7. スタッフ

- 主 幹： 花園一実（東京1組 圓照寺）
- 研究員： 三浦雅彦（東京4組 真英寺）
中根信雄（東京5組 明福寺）
内藤 望（湘南組 長徳寺）

●特別講義一覧(参考のための第八期「特別講義」の講師・内容です/敬称略)

- <芹沢 俊介> 評論家/死刑および死刑囚について
- <平川 宗信> 刑法学者・名古屋大学名誉教授・中京大学名誉教授/真宗に立って憲法問題を考える
- <平野 喜之> 金沢教区第11組浄専寺住職/オウム元死刑囚との交流を通して学んだこと
- <渋谷 哲也> フリーライター・中央大学非常勤講師/ネットを利用する若者の生きづらさ~座間事件に見る「死にたい」若者たち~
- <マイケル・コンウェイ> 大谷大学講師/師に出会い、本願海に回入する
- <増田 裕次> 遺品整理クリーンサービス代表/去る者からのメッセージ
- <濱名 雅一> 東京都葬祭業協同組合理事長/葬儀社からみた葬儀業界の現状
- <碧海 寿広> 武蔵野大学准教授/近代の仏教と真宗の伝統-清沢満之と近角常観-
- <中村 好> 茨城1組妙安寺住職/ブラジル移民と大谷派の開教の歩み
- <石井 公成> 駒澤大学仏教学部 教授/漢字仏教文化圏における相互交流の諸相
- <鈴木 岩弓> 東北大学高度教養教育・学生支援機構 教養教育院 総長特命教授/イエスキ時代の死者の行方
- <森田 真生> 独立研究者/数学を通して「人間」を考える
- <大澤 絢子> 大谷大学真宗総合研究所東京分室 PD 研究員/親鸞から大衆文学を考える
- <ネルケ無方> 曹洞宗 安泰寺住職/さまよえる者の宗教論 ドイツ人禅僧はなぜキリスト教から仏教に転向したのか
- <竹橋 太> 真宗大谷派儀式指導研究所研究員・本願部出仕/なぜ人間は儀式をするのか~愛を手がかりに~
- <加藤 秀一> 社会学者・明治学院大学社会学部教授/ジェンダー論の基礎概念と「平等」への問い
- <岸上 仁> 脳神経内科医・大阪教区受念寺/暗闇の中を生きられるのか-医療現場の問いを抱えて仏教に学ぶ-
- <今井 雅晴> 歴史学者・筑波大学名誉教授/親鸞聖人立教開宗 800 年の意義
- <青木 健> 静岡文化芸術大学/ゾロアスター教と古代ペルシアの文明
- <三橋 尚伸> 産業カウンセラー・真宗大谷派僧侶/聴くということ~聴くこととは、自己を知り他者を知ること~
- <伊藤 亜紗> 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院/大学院環境・社会理工學院教授/他者にふれる-身体論から考える利他-
- <山田 慎也> 国立歴史民俗博物館 広報連携センター長・研究部 民俗研究系 教授/葬送儀礼の変容と現代的課題
- <名和 達宣> 教学研究研究所所員/現代と親鸞教学

※講師の肩書きについては、お越しいただいた当時の肩書きを掲載しております。